

ソニックデザイン コンセプトモデル発表資料 2019年10月23日

ソニックデザイン、「第46回 東京モーターショー」に出展 次世代スピーカーコンセプトモデルを発表

株式会社ソニックデザイン(所在地:千葉県千葉市、代表取締役:佐藤敬守)は、日本の高級カーオーディオ専門メーカーとして、独創技術で音楽再生の理想を追求してまいりました。今回の出展*では、その独創的な技術による次世代スピーカーコンセプトモデルを発表いたします。「The Suite Lounge」と銘打った弊社ブースは、外部のショーケースに今回発表のコンセプトモデルや主要製品などを展示し、ブース内部**では、次世代スピーカーコンセプトモデルを装着した、「メルセデス・ベンツAクラス」を展示いたします。ブースデザイン全体は、特徴的な格子状のファサードを通して展示車両を外部からも眺められるデザインといたしました。

*弊社東京モーターショー出展は、2003年(第37回)から今回の2019年(第46回)出展で9回目となります。2004年開催の商用車ショー(第38回)には出展しておりません。

**ブース内部はお取引先様のための商談スペースとなっており、一般公開はしていません。



第46回東京モーターショー2019ロゴ



第44回東京モーターショー2015出展ブース
今回出展のメルセデス・ベンツ Aクラス W177



コンセプトモデル企画意図

ソニックデザインは2000年の創業以来、オールインワン・コンセプトのもと、独自の小口径スピーカー技術とエンクロージャ技術によって、高音質と優れたインストール性を両立するエンクロージャ一体型カースピーカーを提案してまいりました。今回発表するコンセプトモデルは、そのオールインワン・コンセプトをさらに推し進めたシングルウェイ構成のフルレンジドライバー・モジュールです。ソノキャストを踏襲した新設計アルミシームレスエンクロージャに、52mm口径ワイドレンジドライバーをフレームレスにて搭載したコンセプトモデルは、クロスオーバーネットワークなしのシングルウェイ構成ながら、可聴帯域の大半をカバー。また、点音源化により、車室内での音の指向性と広がり が最適化され、装着位置が低く適切な音場感が得にくいとされるドアマウントスピーカーでありながら、自然な定位感と音場感の再現を可能にしました。インストール性においても、一般的な純正16.17cm口径スピーカーとの交換装着はもちろんのこと、今回の展示車両(メルセデス・ベンツAクラス)のように、純正スピーカーの交換が困難な車両についても、スピーカーモジュールが小型化されたことにより、装着可能になります。



メルセデス・ベンツ Aクラス W177 次世代スピーカーコンセプトモデルを装着

コンセプトモデルの主な特徴

1. 振動板を近接配置し音源の集約化

強力な磁気回路、マイクロファイバー振動板、ソノキャストなど、ソニックデザインのスピーカー技術を踏襲しただけでなく、6面体であるエンクロージャのバッフル面と左右2面にそれぞれ振動板を近接配置としたことにより、さらなる音源の集約化が図れました。

2. エンクロージャとスピーカーユニットの完全一体化

高剛性・低共振設計であるエンクロージャとスピーカーの完全一体化(フレームレス)によって低歪化され、音の透明度、微細な音のディテールの再現力がさらに向上しました。また、既存モデル同様、車外への音漏れも本質的に解消されています。

3. 取付け自由度の大幅な向上

小型化により装着部の設計自由度が向上したことによる車内音響の改善効果、取付けの簡易化や取付け時間の短縮など、車への装着時の問題点も改善しました。



新開発シングルウェイ構成のフルレンジドライバー・モジュール

本件についてのお問い合わせ先

株式会社ソニックデザイン

電話:043-209-1777 / E-mail:info@sonic-design.co.jp

以上